

【学習の目標と学習方法】

- * 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

授業について

- * 授業は、教科書の内容を中心に進めていきます。
- * 教科書、ノートは毎回必要です。また、色ペン2本、定規も毎回持ってきてください。問題集、コンパス、分度器などは必要な時に教科係から連絡されます。
- * 全学年で、習熟度別少人数制の授業形態で行います。
- * 暗記が中心ではなく、なぜそうなのか考え方や過程を大切にします。

生徒のみなさんに

- * 板書をノートにしっかり写しましょう。板書以外にも気付いたことをノートに書くといでしょう。
- * 積極的に取り組みましょう。具体的には発言、質問、友達との学びあいを積極的に行いましょう。
- * わからないところは、そのままにせず質問しましょう。

家庭学習では

- * 理解したことを定着させるためにも、家庭学習は大切です。授業で習ったことを復習する時間をとりましょう。
- * **ドリルパークに定期的に取り組みましょう。**
- * 宿題は、必ずやりましょう。
- * 授業で分からなかった問題を再度、問題集などを利用してやり直しましょう。

試験前はこのように取り組み

- * 計算練習は毎日少しずつでも行いましょう。
- * 一度解いた問題をもう一度解いてみましょう。
- * 教科書の問い、まとめの問題、章の問題はもちろん、問題集も活用し、繰り返し学習を行いましょう。
- * 数学の用語などは、ノートにまとめておきましょう。
- * 解けなかった問題や、わからない問題は先生や友達に聞いて解決しておきましょう。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
評価資料	・定期テスト ・小テスト ・授業での説明	・定期テスト ・小テスト ・レポートの内容 ・授業での説明	・授業での活動の様子 ・振り返りシート ・問題集への取り組み ・ドリルパークへの取り組み ・ノートへの記入内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年	0章 (3h)	1章 正負の数 (25h)	2章 文字と式 (18h)	夏休み	3章 1次方程式 (14h)	4章 比例と反比例 (22h)	5章 平面図形 (17h)	6章 冬休み	6章 空間図形 (18h)	7章 データの 分析と 活用 (10h)	総合演習 (13h)		
計140h													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2年	1章 式の計算 (15h)	2章 連立方程式 (12h)	3章 1次関数 (19h)	夏休み	3章	4章 平行と合同 (15h)	5章 三角形と四角形 (21h)	冬休み	5章	6章 確率 (9h)	7章 データの 比較 (5h)	総合演習 (9h)	
計105h													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3年	1章 多項式 (19h)	2章 平方根 (16h)	3章 2次方程式 (15h)	夏休み	3章	4章 関数 $y = ax^2$ (17h)	5章 相似な図形 (23h)	6章 円 (10h)	7章 三平方 の定理 (13h)	冬休み	7章	8章 標本 調査 (6h)	総合演習 (21h)
計140h													